



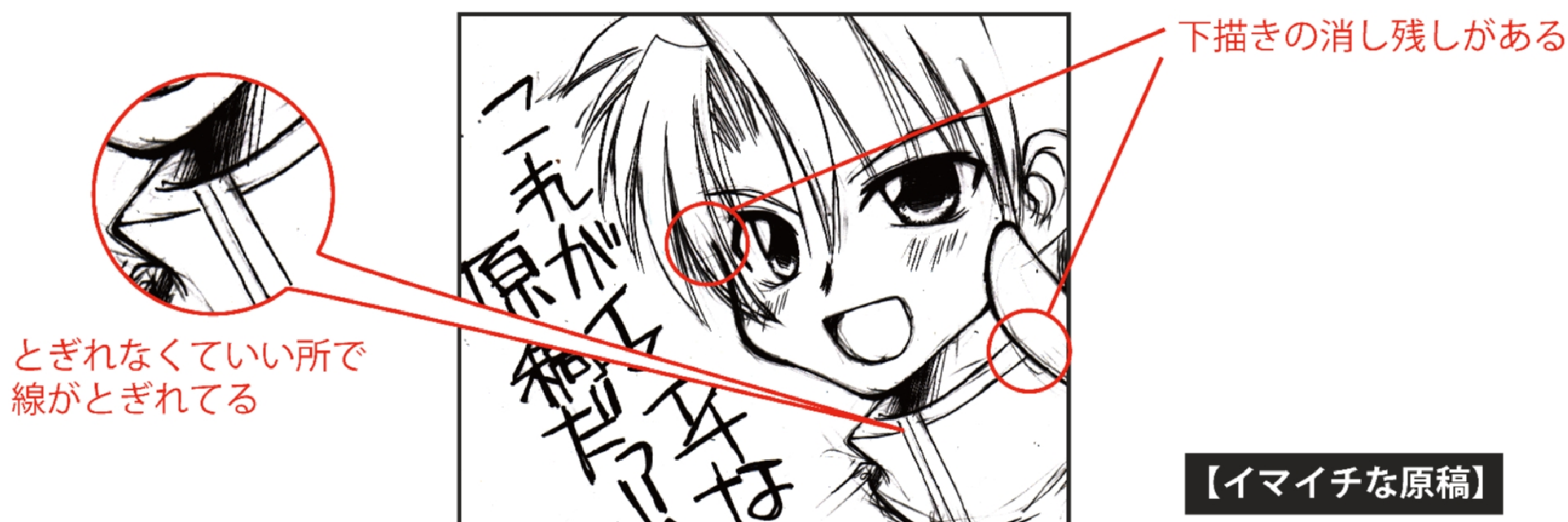
まずは、読み込み用の原稿を用意します。
原稿用紙に下描き、ペン入れをして、消しゴムをかけておきます。
ここでは、紙原稿を描くための道具や、描き方は割愛します。紙原稿の描き方は、市販されているマンガ用原稿用紙に同封されている解説書に使い方が書いてあったり、紙漫画の描き方の紹介した教本があるような出版社から出ていますので、それを参考に作成してください。

さて、ComicStudio に読み込む前のこの原稿。実はこの原稿をできるだけキレイに作っておくと、ComicStudio に読み込んだ後の作業がすごく楽になったりします。

じゃあ、ComicStudio での作業が楽になる原稿ってどんなの？
次は、ComicStudio での作業が楽になる原稿について紹介します。

キレイな原稿とはなんぞや？

キレイな原稿、キレイな原稿って大げさに言ってますが、実は何か特別なことが必要なワケではなく、要するに基本的なことをしっかりやってあげるだけです。



Point 消しゴムはしっかりかける

「なーんだ！」って感じですが、ComicStudio に読み込んだ後に、残った鉛筆の線を消そうとすると、これが結構大変です。
消しゴムはいつも文字を消している感じでかけると、結構消し残しが出ます。しっかりチェックするクセをつけておきましょう。

Point インクの色はしっかり黒で

消しゴムをかけると、インクの種類によっては、インクの色が薄くなります。線がグレー状態になると、読み込んだときにキレイに出なくなってしまいます。(読み込んでから描き足してあげるっていう手もありますが。)
いろいろなインクを試してみても良いかもしれません。

Point 線はつなげる

効果とか演出部分以外の線はできるだけつなげるようにペン入れしましょう。選択範囲をとりやすくなります。

原稿の作り方いろいろ

さて、なんとなく ComicStudio で作業しやすい原稿のポイントがわかってきました。
ポイントさえ押さえておけば、後は好きな方法で原稿を作成してかまいません。
自分の一番やりやすいやり方で原稿を作成しましょう。

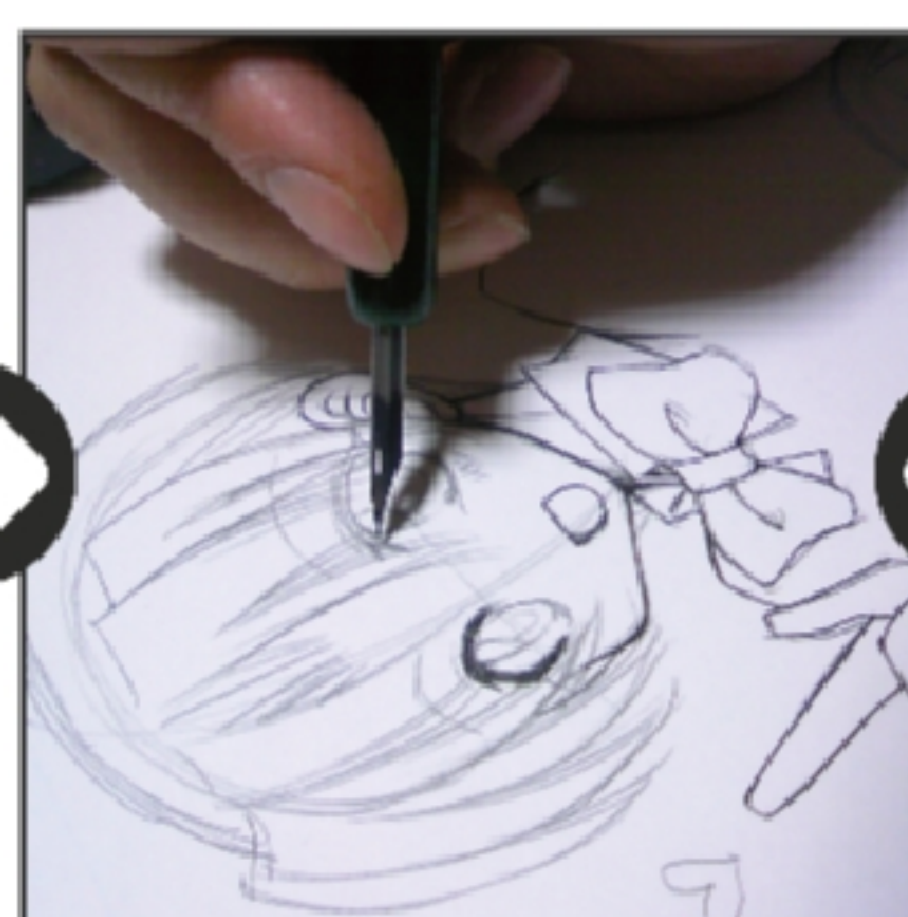
Case1 原稿用紙に下描き→ペン入れ→消しゴム

一番基本的な方法です。原稿用紙に鉛筆で下描きして、その上にペン入れ、最後に消しゴムをかけます。

【必要な道具】
シャープペンシル
消しゴム
つけペン
インク



【下描き】



【ペン入れ】



【消しゴムかけ】



【完成】

Case2 原稿用紙に水色で下描き→ペン入れ

原稿用紙に水色のシャープペンで下描きして、その上にペン入れしていきます。
下描きを水色でしているので、モノクロ2階調にすると水色部分が認識されませんので消しゴムをかける手間を省けますが、筆圧が強いとスキャン時に汚れとして認識されてしまい、あとで部分的に修正をする必要があります。

【必要な道具】
水色のシャープペンの芯
シャープペンシル
消しゴム
つけペン
インク



【下描き】



【ペン入れ】



【完成】

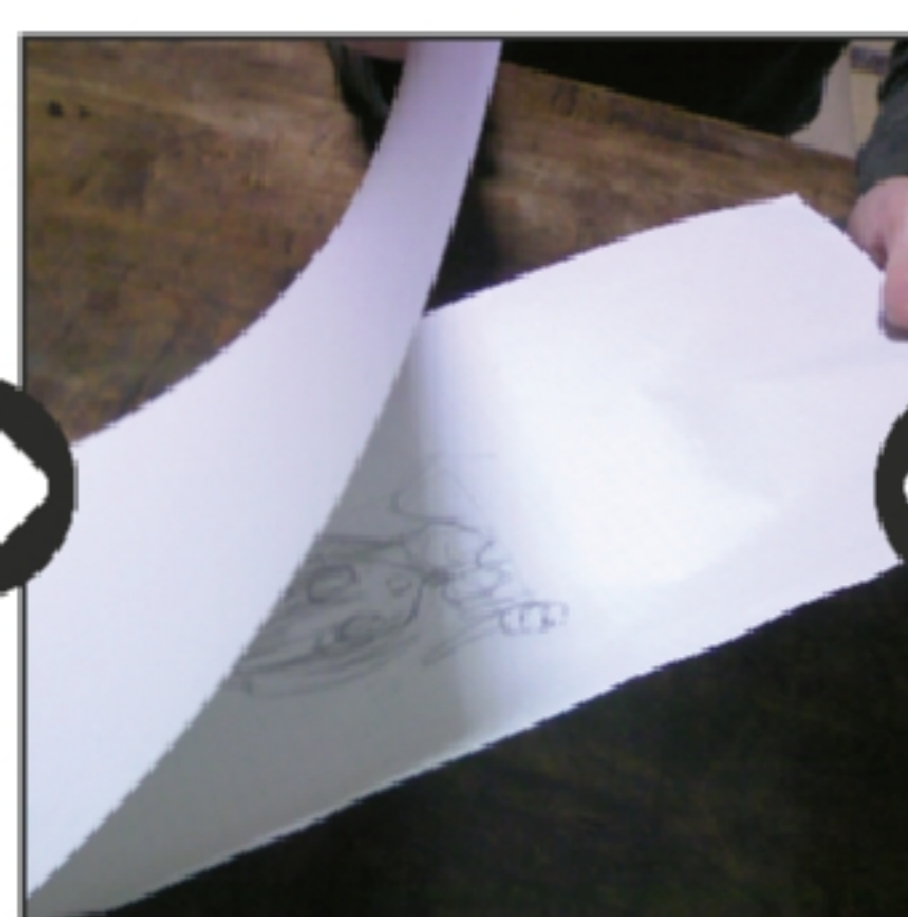
Case3 下描きを別紙に行い、トレース台を使ってペン入れ

原稿用紙とは違う紙に下描きをして、トレース台を使って原稿用紙にペン入れしていく方法です。
下描きを別の紙にするので、消しゴムをかける必要がありません。原稿が一番キレイになりますが、トレース台が必要です。

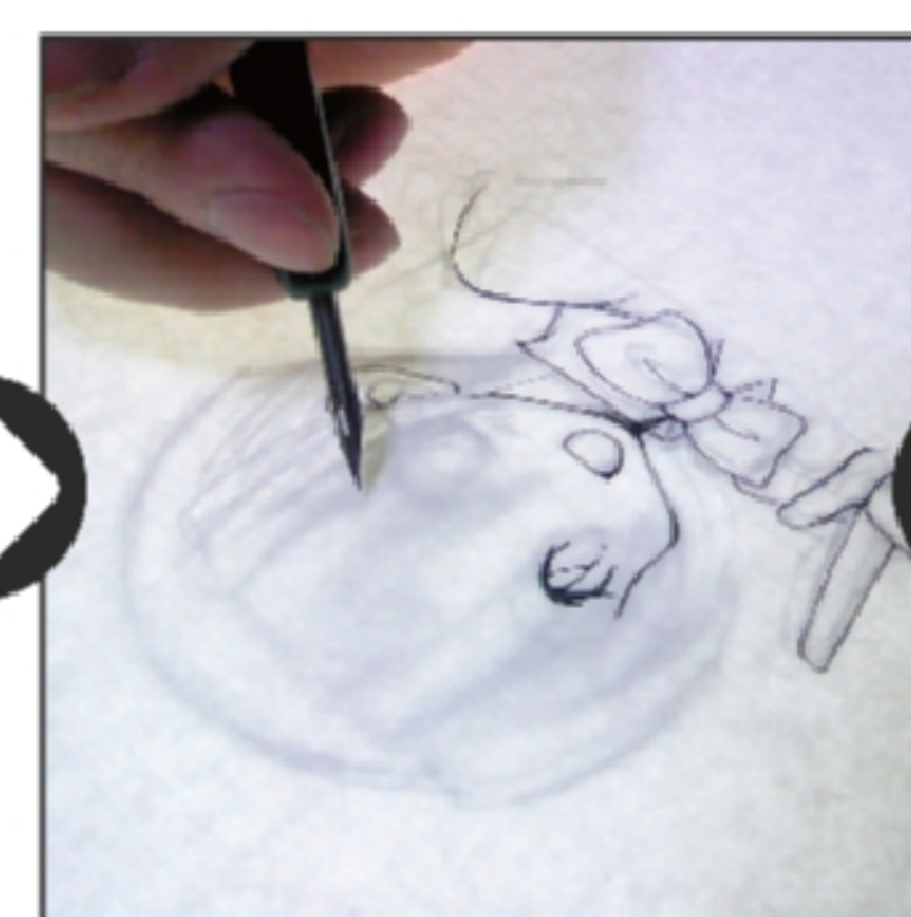
【必要な道具】
トレース台
マスキングテープ
シャープペンシル
消しゴム
つけペン
インク



【下描き】



【原稿用紙を上に重ねる】



【ペン入れ】



【完成】

原稿ができあがったら、次はいよいよ原稿をスキャンして、ComicStudio に読み込んでいきます。